



巻頭言

医療法人社団英明会 大西脳神経外科病院
理事長 大西英之

2019 年末から流行している新型コロナウイルス感染症が 1 年以上たっても治まることなく経過しています。どんどん変異株が発生し、活動性の高い若者の感染者が増え続けています。この間、そしてまた今後も、その対応に明け暮れている保健所などの医療福祉機関に働く職員の皆様、医療従事者の皆様に謝意を表したいと思えます。当院も 2020 年末に病棟で集団感染が起きました。その時には保健所の職員の皆様に大変お世話になりましたし、当院の職員も努力してくれ克服できました。感謝しています。今後収束するにはワクチン接種が普及し、有効な抗ウイルス薬が開発されるまで数ヶ月、いや数年かかるかもしれません。この間じっと耐え忍ぶことが必要でしょう。

最近、VUCA という言葉が囁かれています。Volatility 変動性、Uncertainty 不確実性、Complexity 複雑性、Ambiguity 曖昧性の略称です。変化が激しく、不確実で複雑で曖昧な社会になってきています。ICT が高度に進み AI：人工知能が止まるところを知らない発展をし続けています。喋れば何でも調べてくれるスマートフォン、自動で運転してくれる車や交通機関、それを応用したスマートシティー、メール一つで何でも届けてくれる宅配サービス、自分で判断して愛嬌を振りまく愛玩ロボット等々。その結果、社会は急発展する ICT 関連分野とその他の分野で階層が分かれてきつつあります。世界の国々の間で、社会の人々の間で貧富の格差も拡大し続けています。大変な時代になってきています。しかし、悩んでいても何の発展もありません。頭を切り替えて先に向かって歩むしかありません。

これからは Resilience という言葉が Key Word になると言われています。冷静に現実を直視できること。感情のセルフコントロールが出来ること。楽観的でしなやかな思考が出来ること。そして良い人間関係を保ちながら困難を突破できる強さが求められています。新型コロナウイルス感染症で混沌とした時代だからこそ、そして又、ポストコロナの時代こそ個人にも組織にも Resilience が求められていると思うこの頃です。(2021 年初夏)。